

料金後納

ゆうメール

差出人/返還先
株式会社 イムラ
東京メーリングセンター
〒196-0032
東京都昭島市郷地町3-7-1

ご担当者さま
向け

経理の仕事に必要な
基礎知識&最新情報が詰まった月刊誌です!

月刊 経理WOMAN

松の内のにぎわいも過ぎてようやく平穏な日々が戻ってきましたね。
皆さん、こんにちは。「月刊経理WOMAN」編集部の横田です。
中小企業の経理担当の仕事は盛りだくさんですね。
日常業務でさえ手いっぱいなのに、法改正や電子化など、目まぐるしく変わる
経理の状況を把握するのも大変です。
そんな皆さまのために、どこよりも分かりやすく
経理・税務・社会保険の法定事務や実務知識、最新情報までをまとめたのが、
「月刊経理WOMAN」です。
さらに「有名人の金銭哲学」や「グッズ情報」「経理担当者の井戸端会議室」など、
息抜きになる楽しい読み物も満載です。
この機会に、ぜひ読んでみてくださいね(もちろん男性の皆さまにもご活用いただけます)。

経理のレベルアップを
図りませんか?



「月刊
経理WOMAN」
編集部
横田麻美

▼▼▼最新号(2025年2月号)ではこんな記事が掲載されています!▼▼▼

■特集■

決算日までにやるべき事前準備から税金対策まで
「**決算準備&決算対策**」に
強くなる**3時間セミナー**

■2025年2月号のその他の掲載記事■

- ◎「役員退職金」の税務取扱い— こんなどきはどうなる?
- ◎「イノベーションボックス税制」のことが分かる7Q7A
- ◎「奨学金返還支援制度」の内容と利用心得
- ◎債権を取りっぱぐれないために知っておくべき「時効」の法律知識
- ◎バレンタインデーに贈ってみたい「変わりダネチョコ&グッズ」
- ◎有名人が語る「わたしの金銭哲学」(田中ウルヴェ京さん)

■連載記事■

- ◎税理士のひとりごと
- ◎実務レッスンノート
- ◎おススメのこの1冊
- ◎税法用語辞典 その他



毎号
お役立記事
満載
!!!!

●創刊:1996年4月 ●体裁:A5判、縦組、116ページ
●発行日:毎月20日 ●年間購読料:11,100円
(12冊分/1冊当たり925円/税・送料込)

今だけ!!

年間購読を
お申し込みの皆さまに
最新号(2025年2月号)を

無料贈呈

OPEN

皆さま、こんにちは。編集長の天野恵実子です。

本誌「月刊経理WOMAN」の創刊は1996年4月のことです。以前私は別の出版社で経理・税務の雑誌を編集していたのですが、「経理や税金の記事は難しい！ ビギナーでも理解できるようにやさしく解説できないのかなあ…」と常々思っていました。そこで税務や社会保険についてビギナーの経理・税務・総務担当の方でも理解できるよう、できるだけ分かりやすく解説することをコンセプトに創刊したのが「月刊経理WOMAN」です。創刊からあつという間に28年が過ぎましたが、おかげさまで現在、全国4万人の経理総務ご担当者の皆さまにご愛読をいただいています。



月刊経理WOMAN 2025年2月号 にはこんな記事が掲載されています！👇

「月刊経理WOMAN」2025年2月号の特集企画では、「決算準備&決算対策」を取り上げました。3月決算の会社ではその準備に迫られる時期がやってきました。毎年のこととはいえ**段取りよく準備を進めない、税務申告が期限までに間に合わないといったことにもなりかねません**。また、決算の"着地点"が見えてきた段階で、「黒字予想」の場合は節税策を、「赤字予想」の場合は利益の捻出策を検討する必要があります。そこで**2月号の特集企画では、決算日までにやるべき事前準備から、黒字見込み&赤字見込みのときの税金対策までを多角的に解説しました**。これで決算実務に強くなること間違いなしです！

特集

決算日までにやるべき事前準備から税金対策まで

「決算準備&決算対策」に 強くなる3時間セミナー

経理ご担当の皆さんは、「決算」についてどんなイメージをお持ちでしょうか？ 決算の時期が近づいてくると「忙しい」とか「大変」というイメージが先行し、決してウキウキするものではないと思います。

しかし、**経理の皆さんが日々積み重ねていることの集大成が「決算」です。経理職を続けていく上では毎年訪れるイベントですから、できるだけ不安なく、なんなら余裕をもって決算期を迎えたいですね。**

本特集では、まず「そもそも決算とは何か」を確認したあと、LESSON1から3に分けて、日々の仕訳入力、決算準備、税金対策についてレクチャーしました。全体を通して読むことで、決算時の勘定科目の残高チェックのポイントや、決算整理における減価償却・実地棚卸・貸倒引当金の洗い替えなど、毎月計上するわけではない特殊な仕訳の計上方法が理解できます。また、利益を抑えたい黒字企業の税金対策と、赤字企業が利益を捻出するための税金対策についても理解が進むはずです。

この機会に、ぜひ決算のあれこれをマスターして、
ワンランクアップを目指しましょう！

INTRODUCTION まずは決算の意味を正しく理解しておこう！

LESSON 1 決算の第一歩は日々の入力から始まる

LESSON 2 決算準備のスタートは税金対策にあり

LESSON 3 黒字見込み・赤字見込みのときの
税金対策はこうする！



2025年2月号のオススメ記事 ①

2025年4月からスタート！

知的財産から生じた所得に優遇税率が適用される!!

「イノベーションボックス税制」
のことが分かる7Q7A

「イノベーションボックス税制」は企業の知的財産（特許権やソフトウェアなど）から生じた所得に減税措置を設ける制度です。

これまで諸外国にはあった制度ですが、日本では初めて創設される税制で、2025年4月からスタートします。

ここでは「イノベーションボックス税制」の内容や対象となる知的財産等を、Q&Aで分かりやすく解説しました。



point この記事で理解できること

- ★そもそも「イノベーションボックス税制」とはどんな制度か
- ★これまでの「研究開発税制」との違い
- ★「イノベーションボックス税制」の対象となる知的財産
- ★「イノベーションボックス税制」を利用した場合の減税額
- ★「イノベーションボックス税制」を利用するときの経理の役割

2025年2月号のオススメ記事 ②

基本知識から迷いがちなケースまで

「役員退職金」の税務取扱い
—こんなときはどうなる？

役員退職金については、従業員に支給する退職金と同様に税制上の優遇措置がもうけられています。

また基本的に損金算入が認められるのも会社にとっては大きなメリットです。

ただし、支給の方法や金額などによっては税務調査で否認されるリスクもあります。

ここでは基本知識から迷いがちなケースまで役員退職金の税務取扱いを解説しました。



point この記事で理解できること

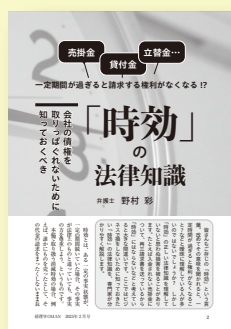
- ★まずは「役員退職金」の税務取扱いの基本を押さえておく
- ★「役員退職金」を損金算入するための要件とは
- ★税務調査で否認されるのはこんなケース
- ★税務調査で否認されるとこんな悪影響がある
- ★「役員退職金」の税務取扱い—こんなケースはどうなる

2025年2月号のオススメ記事 ③

一定期間が過ぎると請求する権利がなくなる!?

会社の債権を
取りっぱぐれないために知って
おくべき「時効」の法律知識

皆さんもご存じの「時効」という言葉。改めてその意味を聞かれると、一定時間が過ぎると権利がなくなること？などと曖昧に理解している人が多いのではないのでしょうか？しかし「時効」の正しい法律知識を理解していないと、思わぬ損害を被ることがあります。ここではビジネスで損をしないために知っておきたい「時効」の法律知識を、専門家が分かりやすく解説しました。



point この記事で理解できること

- ★そもそも「時効」とはどういうもののなのか
- ★「時効」はどの時点で成立するのか
- ★「時効」について知っておくことがビジネスで不可欠な理由とは
- ★経理・総務の仕事で関係する売掛金や買掛金、貸付金の「時効」は？
- ★会社が持っている債権を「時効」で消滅させないための方法とは

2025年2月号のオススメ記事 ④

採用面でアピールできて社員にもメリットが大きい！

「奨学金返還支援制度」の
内容と利用心得

「奨学金返還支援制度」は福利厚生の一環として、従業員の奨学金の一部または全部の返済を企業が肩代わりするというものです。

企業はこの制度を導入することで採用面でのアピールができますし、従業員も奨学金の返済が楽になると

いうメリットがあります。ここでは「奨学金返還支援制度」の内容と利用する際の手続きや留意点をご紹介します。



point この記事で理解できること

- ★「奨学金返還支援(代理返還)制度」とはどんな制度なのか
- ★従業員と会社どんなメリットがあるのか
- ★制度を利用するにあたって会社が検討すべきことは
- ★実際に制度を導入する場合はどんな手続きが必要か
- ★制度導入に際して必要な準備とは(就業規則の変更等)

月刊 経理WOMAN の ここがオススメです!!

「月刊経理WOMAN」の最大の特長は.....

**難しい専門知識をビギナーの実務担当者にも
理解できるよう丁寧に解説していること。**

執筆者の先生のなかには、やたら難解な表現で原稿を書いてくる方もいるのですが、何度も書き直しをお願いして、これならビギナーでも分かる!とGOサインが出ない限り掲載しません。ほかに以下のようなオススメポイントがあります。

経理税務だけでなく 社会保険・総務・人事関連の企画も 豊富にピックアップ!

中小企業の経理ご担当者は、経理の仕事だけをやっているわけではありません。社会保険事務から給与計算、採用関係、登記手続きまで幅広い仕事をこなすことも。多岐にわたる経理担当者の業務を取り上げています。



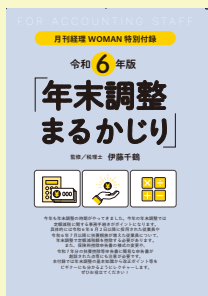
「今月の事務」では 毎月の法定事務や 税制改正情報などを掲載!

連載「今月の事務」では税理士と社会保険労務士が、毎月の法定事務や、気をつけたい事務手続きを事務カレンダーをもとに解説。また、そのときどきで押さえておきたい法改正情報も都度取り上げてご紹介しています。毎月の事務の指針としてご活用ください。



毎年12月号には 別冊付録「年末調整まるかじり」が 付いています!

経理ご担当者にとって最大のイベント、「年末調整」。毎年12月号には別冊で付録が付き、年末調整の基本知識からその年の改正ポイントまでをビギナーにも分かるように1冊にギュッとまとめています。ぜひお忙しい年末にお役立てください!



経理関連の お堅い記事だけでなく 楽しい記事も満載です!

連載「わたしの金銭哲学」では、著名人にインタビューをしてお金にまつわるエピソードや信念、失敗談等を紹介。ほかにも、映画情報や書籍情報も掲載しています。投稿欄「経理WOMANの井戸端会議室」は経理担当者が「あるある!」を共感できる場です。



編集部には、毎月、読者の皆さまからの
熱いメッセージが届きます。
本誌に対する感想や「あの記事が役に立った!」
「こんな企画を取り上げて」といった内容も多く、
読者の皆さまには感謝あるのみです!!



研修出版は こんな会社です！

株式会社研修出版の創業は平成元年。設立から36年が経過します。
創業以来、実務書の出版社として
「仕事に役立つ情報をどこよりも分かりやすく発信し、
広く社会に貢献する」ことをポリシーとしてきました。
編集スタッフの合言葉は「営々黙々花が咲こうと咲くまいと」。
これからも皆さまのお役に立てる雑誌作りに邁進していきます！

経理WOMAN編集部。
編集者は全員女性です。



これまでこんな特集企画が大好評でした！

2024年12月号

特集

「経費を増やす」「税金を減らす」 …「マサカの坂」にはこう備えよう!! 会社に「お金(キャッシュ)」を残すための実践テクニック

会社経営には「マサカの坂」があります。たとえ現在利益が出ていても、突如リーマンショックのような経済危機が訪れるかもしれません。そんなときに一番頼りになるのが「キャッシュ」です。では手元の「お金(キャッシュ)」を増やすためにはどうすればよいのでしょうか。本特集では「経費を増やす」「税金を減らす」という観点から、会社に「お金(キャッシュ)」を残すための実践的なテクニックを紹介しました。

2024年9月号

特集

直近の経営課題を把握して早急に手を打つ! 社長と経理が知っておきたい!! 「月次決算書」の正しい読み方&活かし方

月次決算の目的は最新の経営状況を迅速に把握することにあります。そのためスピード感を持って作成することが求められます。そしてもうひとつのポイントは、迅速に作成した月次決算書の読み方を理解しておくことです。月次決算書は年次決算書とは目的も内容も異なります。その違いを理解して「月次決算書」を正しく読むことが大切なのです。本特集を読んで「月次決算書」の本来の目的や活用方法が理解できたと読者に大好評でした。



2024年6月号

特集

儲かる会社をつくるために絶対知っておきたい!! 「損益分岐点」の必備知識&活用術

損益分岐点(break-even point)は損益がちょうどゼロになる売上高や販売数量のことです。売上が損益分岐点を超えれば利益が出ますし、逆に損益分岐点未満の売上高しかなければ損失が発生します。会社の経営計画や利益計画に損益分岐点の把握は不可欠です。また損益分岐点を活用することで、会社を「利益体質」に変えることも可能になります。本特集では「損益分岐点」の基本知識から活用方法までを解説しました。難しいと思っていた「損益分岐点」をここまで易しく解説した記事は初めて!!という声をたくさんいただきました。



お申込みは以下のいずれかの方法でどうぞ!!

 **0120-458934**

受付時間：10時～15時（祝日を除く月曜～金曜）

FAX 0120-458937

FAXの場合は下記のフォームをご利用ください。

Web www.kens-p.co.jp

24時間受付しております。

年間ご購読お申込書

お申込者ご住所

送付先が上記住所と違う場合はこちらへご記入ください。

〒

ご自宅・ご勤務先 ※どちらかに○印をお付けください。

会社名・部署名

お電話番号

()

ご担当者名

メールアドレス

ご購読期間をお選びください

(いずれかに☑をお付けください。)

安心1 お支払いは月刊誌が届いてからの後払いです。

安心2 中途解約も可能です。

その場合は精算のうえ、ご返金申し上げます。

☐ 1年（12冊）…………… 11,100円（税・送料込／1冊当たり925円）

☐ 2年（24冊）…………… 19,980円（税・送料込／1冊当たり833円）

☐ 3年（36冊）…………… 25,600円（税・送料込／1冊当たり712円）

▶バックナンバーご購入お申込書

*ご希望の号に☑印をお付けください。1部 980円（税・送料込）です。
*詳細や他の号の内容はホームページでご確認いただけます。



☐ **2025年1月号**
「育児介護休業法等の改正」
— 中小企業の対応ポイント
教えます



☐ **2024年12月号**
会社「お金（キャッシュ）」を
残すための実践テクニック



☐ **2024年11月号**
年末調整の「電子化」の
ことが分かる3時間講座



☐ **2024年10月号**
「定年延長」— 中小企業の
緊急対策マニュアル



☐ **2024年9月号**
「月次決算書」の
正しい読み方&活かし方



☐ **2024年8月号**
「会社で起こりがちな
ハラスメント」徹底対策
セミナー



☐ **2024年7月号**
使用人兼務役員の
「報酬・賞与・退職金」—
税務のツボが分かるQ&A



☐ **2024年6月号**
「損益分岐点」の
必備知識&活用術



☐ **2024年5月号**
賢い
「リスケ（リ・スケジュール）」の
進め方



☐ **2024年4月号**
超・人手不足の時代の
「人材採用戦略」を考える



☐ **2024年3月号**
いま新たに出てきた
「インボイス」の疑問に
答えるQ&A



☐ **2024年2月号**
「銀行交渉」に強くなる
3時間セミナー

